

抗体・機能性タンパク質の 細胞内送達に向けて

開催日時：2021年3月12日（金）14時～15時30分

セミナー形式：Zoom（定員90名、JBAwebページにて受付）

主催：（一財）バイオインダストリー協会 創薬モダリティ基盤研究会

講師：**二木 史朗氏**

（京都大学化学研究所
生体機能化学研究系 教授）



現在、上市されている抗体やタンパク質医薬品は、細胞外（=血中あるいは細胞膜上）の因子を標的としている。抗体やタンパク質を効果的に細胞内に送達する手法が開発できれば、創薬支援技術としての活用のみならず、医薬品の適用範囲の拡張へとつなげられる。このためには、抗体やタンパク質の(i) 標的組織・細胞への送達と、(ii) 細胞内への移行を促進するための方法論の樹立が必要である。

演者は、生体膜と相互作用する種々の特性を持つペプチドを通じて、特に(ii)の問題の解決を目指している。本講演では、これらの試みについて紹介する。

Zoom参加：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2021年3月9日（火）12時

お問合せ：（一財）バイオインダストリー協会
（担当：渡邊、岸本、橋本、矢田）